

GC-MS用残留農薬微量マルチ定量パッケージ

愛知県衛生研究所 前室長 上野英二

株式会社島津製作所 宮川治彦、株式会社アイスティサイエンス 佐々野僚一

▶〈関連ページ〉9、10、11ページ

狙い 食品に残留する農薬等のポジティブリスト制度(2006年～)及び冷凍ギョーザ事件(2008年)に代表される農薬等の健康被害事案に安全・低コスト・迅速・簡易かつ精確に対応するためのGC-MSシステム及びサンプル調製システムの開発、パッケージ化。

用途 国内外における検査機関及び食品メーカーの品質保証部門で、原材料中の残留農薬等を網羅的にスクリーニング定量し、食品衛生法の基準に適合しているか判定。農薬等による健康被害事案に迅速に対応するツール。

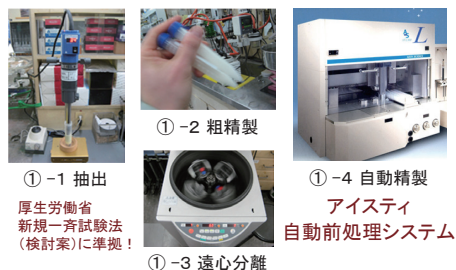
特長

- サロゲート混合標準溶液を用い、450種類を超える農薬標準品を用いることなくスクリーニング定量が可能。
- 分離特性の異なる2種類のカラムを用い、夾雑物の多い加工食品などでも精確に判定。
- 低コスト・迅速かつ精製効果の高いサンプル調製により、GC-MS装置の汚れ防止。

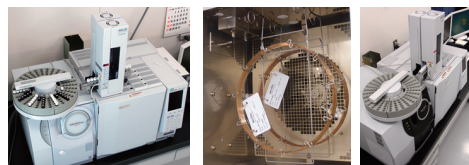
仕様

- ・ 島津Quick-DB(GC-MS残留農薬分析用データベース)
Scan/SIMメソッド:Scan(319成分)、SIM(157成分)
Scan/MRMメソッド:MRM(249成分)
- ・ 島津Twin-LineMSシステム
- ・ 林純薬PL農薬サロゲート混合標準溶液 I (10種類)及びII (9種類)
- ・ アイスティ自動前処理システム

① 迅速なサンプル調製システム



② デュアルカラムGC-MS(/MS)測定



③ 定量データベース解析



■お問い合わせ/株式会社島津製作所 分析計測事業部 ライフサイエンス事業統括部MSビジネスユニット プロダクトマネージャー 宮川 治彦
e-mail: miyagawa@shimadzu.co.jp 電話番号: 075-823-1334 FAX: 075-811-8187

■特許の有無: 特願2013-223117